

令和2（2020）年度 長岡大学シラバス

|                |                                                         |             |      |             |   |      |                     |     |    |
|----------------|---------------------------------------------------------|-------------|------|-------------|---|------|---------------------|-----|----|
| 授業科目名<br>科目コード | 財務戦略2（Strategic Financial Management 2）<br>393138-14300 |             |      |             |   | 担当教員 | 栗井 英大<br>（クリイ ヒデヒロ） |     |    |
| 科目区分           | 専門科目                                                    | 必修・<br>選択区分 | 選択科目 | 単<br>位<br>数 | 2 | 配当年次 | 3年次                 | 開講期 | 後期 |
| 科目特性           | 知識定着・確認型 AL                                             |             |      |             |   |      |                     |     |    |

① 授業のねらい・概要

資本市場における資金の出し手である投資家の視点から、企業の資金需要をどのように評価し、投資対象を決定するかを考える。まず、リスクとは何か、リスク・リターンと金融商品の関連性を理解する。次に、投資家の投資判断のベースとなる企業の財務諸表とその真偽を見極める方法を確認した後、財務諸表の分析手法とその活用方法を学ぶ。さらに、市場全体の動向、リスクコントロールの方法を学び、実践的な投資判断を行うための方法論を理解する。

本講義を通じて、資金の出し手である投資家がどのような観点で投資対象を選定するのか、その思考・評価方法を理解し、説明できるようになる。また、投資への問題意識を持ち、投資家としてのスタンスを習得する。

② ディプロマ・ポリシーとの関連

職業人として通用する能力／専門的知識・技能を活用する能力を養う。

③ 授業の進め方・指示事項

講義は、パワーポイントを活用し講義を行い、書き込み式の配付資料の空欄を学生自ら埋めていく方法で進める。また、講義冒頭では、記憶の再生、定着を促すために、前回講義の復習を行う。

正当な理由のない遅刻・途中退席は認めない。

日々の社会的な出来事も積極的に取り上げるほか、学生の意見を取り入れつつ、講義を進める。そのため、授業内容が変更となる場合がある。

④ 関連科目・履修しておくべき科目

「財務戦略1」

⑤ 標準的な達成レベルの目安

(i) リスク・リターンとリスクコントロールを理解することができる。

(ii) 社債・株式等による資金調達の方法を理解することができる。

(iii) 企業の財務諸表、財務分析手法を理解し、財務分析を実践することができる。

⑥ テキスト（教科書）

テキスト指定なし。授業開始時にレジュメを配布する。

⑦ 参考図書・指定図書

久田友彦（1997）『中小企業財務の見方超入門』銀行研修社  
 田中慎一、保田隆明（2013）『あわせて学ぶ 会計&ファイナンス入門講座』ダイヤモンド社  
 その他、テーマに関連した参考文献や関連情報を必要に応じ紹介する。

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法

| 具体的な学習到達目標                 | 試験                                                     | 小テスト | 課題  | レポート | 発表・<br>実技 | 授業への<br>参加・意欲 | その他 | 合計   |
|----------------------------|--------------------------------------------------------|------|-----|------|-----------|---------------|-----|------|
| 総合評価割合                     | 50%                                                    |      | 30% | 15%  |           | 5%            |     | 100% |
| (i) リスク・リターンとリスクコントロールの理解  | 15%                                                    |      | 8%  | 4%   |           | 1%            |     | 28%  |
| (ii) 株式による資金運用手法の理解        | 18%                                                    |      | 12% | 6%   |           | 2%            |     | 38%  |
| (iii) 財務諸表、財務分析の理解と財務分析の実践 | 17%                                                    |      | 10% | 5%   |           | 2%            |     | 34%  |
| フィードバックの方法                 | 初回講義内で、成績評価の方法・基準、講義の進め方、試験の方法等について、具体的に説明するので、出席すること。 |      |     |      |           |               |     |      |

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）

学生の理解度・習熟度を確認しながら、講義を進めていく。

⑩ 授業計画と学習課題

| 回数 | 授業の内容                    | 持参物  | 授業外の学習課題と時間（分）                 |
|----|--------------------------|------|--------------------------------|
| 1  | 講義ガイダンス<br>リスク・リターンと金融商品 | 筆記用具 | 講義の復習<br>金融商品への投資方法の検討<br>90分  |
| 2  | 宝くじ効果と期待値                | 筆記用具 | 講義の復習<br>宝くじ効果<br>90分          |
| 3  | リスク体感ゲーム                 | 筆記用具 | 講義の復習、期待値の計算<br>機会費用の確認<br>90分 |
| 4  | 機会費用と投資家の意思決定            | 筆記用具 | 講義の復習<br>株式購入方法、株式注文方法<br>90分  |
| 5  | 証券会社と株式購入方法              | 筆記用具 | 講義の復習<br>ローソク足と株価チャート<br>90分   |

|    |                  |                 |                           |     |
|----|------------------|-----------------|---------------------------|-----|
| 6  | ローソク足と株式チャート     | 筆記用具            | 講義の復習<br>財務分析手法の確認        | 90分 |
| 7  | 財務諸表の再確認と財務分析手法  | 筆記用具            | 講義の復習<br>上場企業の財務分析        | 90分 |
| 8  | 財務分析の実践と投資判断     | 筆記用具            | 講義の復習<br>株価調査             | 90分 |
| 9  | ROE              | 筆記用具            | 講義の復習<br>粉飾決算とその見抜き方、事例検索 | 90分 |
| 10 | 財務諸表の粉飾と発見方法     | 筆記用具            | 講義の復習<br>PBR・PERの計算       | 90分 |
| 11 | PBRとPER          | 筆記用具            | 講義の復習<br>配当利回りと株主優待       | 90分 |
| 12 | 配当、株主優待          | 筆記用具            | 講義の復習<br>株式市場全体の株価変動要因    | 90分 |
| 13 | 株価変動のマクロ要因       | 筆記用具            | 講義の復習<br>日経平均株価の将来予想      | 90分 |
| 14 | リスクコントロール        | 筆記用具            | 講義の復習<br>ビットコイン           | 90分 |
| 15 | ビットコイン<br>講義のまとめ | 筆記用具<br>全ての配布資料 | 講義の復習<br>期末試験に向けた準備学習     | 90分 |

#### ⑪ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型ALを採用する。

- ・毎回講義中に課題・問題を出すことにより、インプット型の講義に加えて、学生の知識のアウトプットも重視し、知識の定着を目指す。
- ・前回講義中に受け付けた質問・感想、及び宿題の内容について、講義中にフィードバックを行うことで、理解度を高めていく。

※以下は該当者のみ記載する。

#### ⑫ 実務経験のある教員による授業科目

##### 実務経験の概要

平成9(1997)年4月～平成28(2016)年3月まで、株式会社第四銀行に在籍。そのうち、平成15(2003)年3月～平成24(2012)年6月まで、(財)新潟経済社会リサーチセンターに在籍。研究員として、新潟県経済の調査分析および業界動向等の調査レポート作成業務に従事した。

##### 実務経験と授業科目との関連性

地域金融機関に勤務した経験を生かし、株式会社を中心とした企業の資金運用の方法について具体的な事例を交えつつ、分かりやすく紹介する。